

1月の歳時記

睦月

1月は睦月ともいいますね。
睦月とは、お正月に家族や親せきが集まり、睦み合う（むつみあう・互いに親しみ合う、仲良くする、仲睦まじいこと）から「睦び月（むすびつき）」となり「睦月」となったとされる説が有力だそうです。ほかに、始まる月、元になる月ということから「元月（もとつき）」になり、それが転じて「睦月」になったという説、稲の実を初めて水に浸す月ということから「実月（むつき）」が転じたという説もあります。



プレゼント・手作りケーキ・手作りお好み焼きなど、皆さんに楽しんでいただくようユニット職員が企画し行われました。



鶯替え神事



鶯（うそ）替えとは、全国の天満宮・天神様で行われる神事です。

木彫りの鶯（うそ）を「替えましょ・替えましょ」の掛け声と共に交換し合い、一年の幸運を祈念し合います。

菅原道真を祭神とする太宰府天満宮が発祥です。

一年の内についた全ての「嘘」を天神様の誠心に替え、これまでの悪いことを「嘘」にして今年の吉に取り替えるという意味があります。

菅原道真が太宰府に左遷された翌年の1月7日神事の最中、寒中にもかかわらず無数の蜂に襲われた時、一軍の鶯が飛来し蜂を食い尽くして人々を救ったと伝えられており、このことから鶯は菅原道真ゆかりの鳥とされ「鶯替え神事」が行われるようになりました。

1月7日頃から各地で行われているようです。

おもちつき



各ユニットでクリスマス会が行われました

お好み焼き・・・



大きなケーキだね



お餅つきを楽しみました。ついた餅の他に「やわらかもち」が用意されどつまりが心配な方たちも、安全に食べることができました。

「昔はよくやったよね〜😊」と懐かしむ声もたくさん聞かれました。

